



SDGs&カーボンニュートラルに参画しよう

安全で快適に暮らせるまち

生活環境

生ごみ処理機でゴミ減らそう！

毎日でる「生ごみ」を生ごみ処理機で減らす家庭が増えています。

生ごみというのは、野菜の皮や、食べのこしなどの食べもののごみのことです。生ごみをごみ袋に入れて捨てると、能美市美化センター（ごみ処理場）まで車で運ばれて、燃やされます。

でも、そのときにCO₂（二酸化炭素）がたくさん出てしまいます。それを防ぐために、生ごみ処理機を使うと、生ごみを減らしたり たい肥（野菜の栄養になる土）に変えたりすることができるのです。

生ごみ処理機を使うことで貢献（こうけん）しているSDGs（エスディー・ジーズ）のゴール

11 住み続けられるまちづくりを



① ゴール11/ 住み続けられるまちづくりを

ごみが少なくなれば、ごみ処理場のさまざまな問題が少なくなって、みんなが住みやすいまちになります。

13 気候変動に具体的な対策を



③ ゴール13/ 気候変動に具体的な対策を

生ごみを燃やすときに出るCO₂を減らせるので、地球温暖化を防ぐことにつながります。

12 つくる責任 つかう責任



② ゴール12/ つくる責任 つかう責任

生ごみをムダにしないで、たい肥にして再利用することで、「ものを大切に使う」ことができます。



カーボンニュートラルへの貢献

日本では、1人が1日に出す生ごみの量は約350g*です。

これを1年間で計算すると、 $350\text{g} \times 365\text{日} = \text{約}127\text{kg}$ になります。もし、この生ごみを燃やすと、1kgあたり約0.45kgのCO₂が出るといわれています。

ということは、1人分で $127\text{kg} \times 0.45 = \text{約}57.15\text{kg}$ のCO₂が出ていることになります。でも、生ごみ処理機でたい肥にすれば、これをほとんどゼロにすることができます！

たとえば

4人家族で

生ごみ処理機を使えば、

$57.15\text{kg} \times 4\text{人} = \text{約}230\text{kg}$ のCO₂を減らすことができます！

これは、車で約990km走ったときに出るCO₂と同じくらいです。（東京から九州くらいのきよりです）

*環境省「令和6年版 環境・循環型社会・生物多様性白書」 1人が1日に出すごみの量 約880g そのうち生ごみは約4割と推定

わたしたちにできること

生ごみ処理機や生ごみ処理容器（コンポスト）を使えば、ごみも減るし、たい肥も作れるし、いいことばかりです。それに、CO₂も減らせるので、地球を守ることにもなります。たい肥を使って、自宅のベランダや庭でミニトマトなどの野菜を育ててみませんか。とても楽しいし、自分で育てた野菜はきっとおいしいですよ！

能美市は購入を補助金で支援します

能美市では、おうちから出される生ごみを減らし、みんなの生活環境をよくするため、おうちで使う生ごみ処理機やコンポストを買うときに補助金を出しています。

●家庭用生ごみ処理機

買ったお金の1/2

上限額

市内のお店を使った場合は 50,000円

市外のお店を使った場合は 25,000円

●家庭用生ごみ処理容器（コンポスト）

買ったお金の1/2

上限額

市内のお店を使った場合は 3,000円

市外のお店を使った場合は 1,500円